



参議院議員 全国比例  
自由民主党所属

# 山田太郎

表現の自由を守る

こどもや障がい者に優しい社会

若者の将来不安の解消

デジタルによる新しい社会の創造

経済成長をもたらす

経営者として  
教育者として  
政治家として

## 【プロフィール】

### 山田太郎 参議院議員 (1967年生)

麻布高等学校卒、慶応義塾大学経済学部卒、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程満期退学

アンダーセンコンサルティング (現アクセンチュア)、プライスウォーターハウスコンサルタント (現日本IBM)、PTC等外資系企業数社に勤めた後、製造業向けコンサルティング会社ネクステックを創業、3年半で東証マザーズに上場させる

東京工業大学大学院社会理工学研究科特任教授、早稲田大学大学院商学研究科客員准教授、東京大学工学部システム創成学科非常勤講師等を歴任

デジタル大臣政務官、文部科学大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官を歴任  
参議院地方創生及びデジタル社会推進等に関する特別委員会 委員長

こどもの命を守る、こども・若者の生きづらさの解消、孤立化する子育て、障がい者・障がい児への支援の拡充などを旨として、こども家庭庁を創設。花粉症対策やデジタル防災なども手掛ける



参議院議員 (全国比例)

# 山田太郎

こども  
政策編

1 こどもの命を守る

2 生きづらさを抱えたこども・若者に寄り添う

3 こども (家庭) 庁の原点へ

4 知的障がい者の“所得向上”



山田太郎が直接お届けする  
最新の政策情報と政治の裏側



山田太郎公式  
ホームページ

山田太郎LINE  
公式アカウント



山田太郎の  
さんちゃんねる  
毎週水曜日  
21:00~生配信

山田太郎X  
(旧Twitter)  
こども政策アカウント



フォローして応援を  
お願いします!

# 山田太郎のものがたり

# こどもの危機に立ち向かう!

## こどもたちのSOS、まさに緊急事態です

<b>児童生徒自殺者数</b> <b>527人</b> <small>過去最多</small> <small>(2023年度文部科学省調査データ)</small>	<b>児童虐待で死亡した児童</b> <b>72人</b> <small>過去最多</small> <small>(2022年度こども家庭庁調査データ)</small>	<b>児童相談所の虐待相談対応相談数</b> <b>約21.4万人</b> <small>前回調査より増加</small> <small>(2022年こども家庭庁調査データ)</small>	<b>いじめ重大事態</b> <b>1306件</b> <small>前年度の約1.85倍</small> <small>(2023年度文部科学省調査データ)</small>
<b>小中学校における不登校児童生徒</b> <b>約34.6万人</b> <small>過去最多</small> <small>前年から10万1000人増加</small> <small>(2023年度文部科学省調査データ)</small>	<b>こどもの精神的幸福度</b> <small>OECD38か国中</small> <b>37位</b> <small>(2020年ユニセフレポートカード16)</small>	<b>妊産婦の死因</b> <b>1位</b> <b>自殺</b> <small>(2022年調査データ/関沢2023)</small>	<b>ひとり親家庭の相対的貧困率</b> <b>44.5%</b> <small>OECD各国の中で依然として高い水準 (OECD平均31.1%)</small> <small>(2021年厚生労働省調査データ)</small>

こどもの自殺は527人で過去最多、児童虐待で死亡72人、いじめ重大事態は1306件、小中学校における不登校児童生徒数約34.6万人は過去最悪の水準。そして、妊産婦の死因の1位は自殺…。「政治が解決しなければならない課題がある」と決意し、立ち上がった。

## 議論だけでは解決しない! 闘いの舞台

### 実行組織(人員と予算)

こども家庭庁  
こども家庭センター  
自治体・学校  
NPO

### ニーズ把握・現場視察

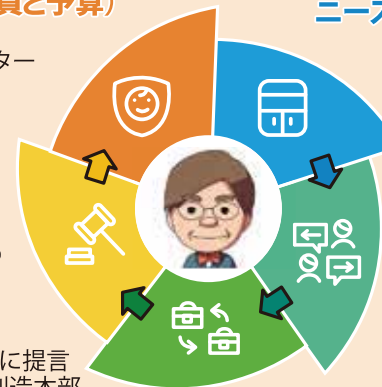
- ・当事者の声、専門家の意見
- ・アンケート調査(数万件)
- ・各種団体
- ・国内視察(北海道~九州)
- ・海外視察(英仏独蘭韓他)

### 法律

成育基本法、産前産後ケア法、こども基本法、こども家庭庁設置法の制定や児童福祉法、自殺対策基本法の改正

### 政策提言

- ・自民党内で議論・政府に提言
- ・こども若者輝く未来創造本部
- ・こどもの自殺対策PT



### 議連・勉強会

- 提言をまとめ政府に要望
- ・ChildrenFirstのこども行政のあり方勉強会
  - ・児童の養護と未来を考える議員連盟
  - ・子どもの貧困対策推進議員連盟
  - ・自殺対策を推進する議員の会
  - ・「こどもホスピス」を応援する議員連盟
  - ・ひきこもり支援推進議員連盟
  - ・超党派 成育基本法推進議員連盟
  - ・参議院自民党 不安に寄り添う政治のあり方勉強会

こどもたちの  
未来を守るため、  
私は、闘い続ける

参議院議員

山田太郎

### 1 こどもの命を守る 虐待・いじめ・不適切指導・自殺等

1. 児童虐待の防止と対策強化
2. こどもの自殺対策の徹底
3. 妊産婦の伴走支援(日本版ネウボラの創設)
4. いじめの早期発見と被害者支援の強化
5. 体罰・不適切指導の撲滅と厳格な対応
6. 問題解決にまでつなげる相談機関の全国展開

### 2 生きづらさを抱えたこども・若者に 寄り添う～不登校・障害・社会的養護等～

1. 発達障害・グレーゾーンのこどもへの支援強化
2. オンライン学習環境の整備や  
学びの多様化学校の拡充と質の向上
3. 社会的養護を必要とするこどもへの支援拡充
4. 切れ目のない福祉・教育・医療の一体的支援
5. 学校の「そろえる」文化の見直し

## 4つのこども重点政策

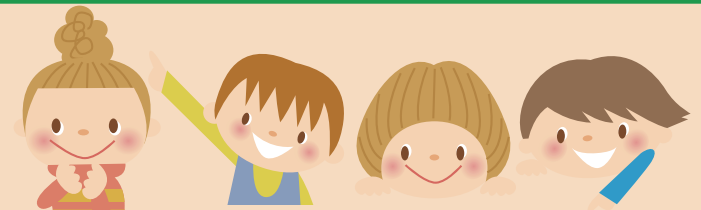
## 山田太郎の

### 3 こども(家庭)庁の原点へ

1. こどもの自殺数を減らす  
日本を「こどもの死なない国」にする
2. こどもコミッショナー・オフステッド(教育の質を監査する第三者機関)を設置
3. こどもの死亡検証(CDR・チャイルド・デス・レビュー)全件実施
4. 困難を抱える子・家庭への支援強化
5. こども政策の地域間格差の解消

### 4 知的障がい者の“所得向上”

1. 知的障がい者の積極的な雇用支援、所得向上
2. 障がい児の児童福祉支援の所得制限撤廃と拡充
3. 障がい児とその家族の経済的負担軽減





# 山田太郎の奮闘の結果、

# 多くのこども政策が実現

## こどもの自殺をなくす

自殺対策基本法の改正 **実現**

こどもの自殺は過去最多を更新しているが、国の対策はほとんどなし。法改正により、こどもの自殺対策を法律に明記し、学校の責務も追加。こどもの自殺対策が法的に担保され対策を推進。

「教員の不適切指導」を新生徒指導提要に明記 **実現**

教員の不適切指導や教員による「指導死」の調査がされてこなかった。文科省と粘り強く交渉を重ね、新しい生徒指導提要に具体例等を追記。併せて、調査実態の可視化も実現。

こどもの死亡検証(CDR)を法制化へ

こどもの亡くなった場所で死亡検証所管省庁、検証方法が異なる現状を改善し、防げる死を予防するため、CDRの全国整備を訴え、骨太方針に明記。国会質疑ではCDRの法制化を強く要請。

## 児童虐待対策の推進

日本版ネウボラの実現 **実現**

孤独な育児・産後うつ予防のための伴走型相談支援(日本版ネウボラ)の創設を勉強会から提言し実現。今後、より一層の制度充実を目指す。

宗教虐待からこどもを守る議論を主導 **実現**

カルト宗教2世の当事者からヒアリングを重ね実態把握。党内・参院本会議代表質問で初めてこの問題を取り上げ、関係省庁から児相・学校等への対応を促す通知発行を実現。宗教虐待対応の周知徹底を図った。

発達障がい児への支援強化

虐待のリスクが高い発達障がい児に対し、国会質疑でその実数の把握を取り上げ、健診での早期発見・支援につなげるための政府の取組強化を強く要請。

## いじめ対応

「いじめ」をこども庁の所管に盛り込む **実現**

従来は文科省のみがいじめ対策を担当していたが、こども家庭庁創設時に一緒に取り組めるよう変更。これにより、こども家庭庁がいじめ調査アドバイザーの派遣制度を開始。

教育委員会に任せない第三の問題解決窓口

旭川はいじめ事案で教育委員会や第三者委員会の調査が機能していない実態が明らかに。学校任せにせず首長部局が積極的にいじめを解決をする「寝屋川モデル」の実証事業を開始。

## こどもDX

電子母子手帳を推進

母子手帳のデジタル化やプッシュ型行政への転換を党内で主導。デジタル大臣政務官時代には、困難を抱える子の早期発見・支援のための見守りデータ連携実証を開始し、主導した。

## こども家庭庁創設

こどもの命を守る司令塔の創設 **実現**

2021年1月の菅義偉総理(当時)への直談判から1年半でこども家庭庁創設に至った。地方議員との連携や17,000人以上から声を集める等、多くの人を巻き込み実現。

## こども家庭支援センター

全国展開を推進

財政規模の大きい自治体だけでなく、町村レベルでの設置に向けた働きかけなど、全自治体でのこども家庭支援センター設置に向けて議論をリード。

## 性被害防止

日本版DBS制度を創設 **実現**

性被害を防止する担当省庁がないことを国会で質疑。以来、教員や保育士など、こどもと接する仕事に就く人の性犯罪歴を確認し、性犯罪を防止する日本版DBS制度創設を主導。

## 障がい児・障がい者への支援強化

障がい児補装具の所得制限撤廃を実現 **実現**

障がい児の補装具の所得制限撤廃を実現。また、身体障がい児者しか認められなかった日常生活用具の使用が発達障がい・精神障がい児者にも適用される。

障がい者の仕事を確保、賃金向上に貢献 **実現**

障がい者の低賃金を問題視。優先調達を実現。また、身体障がい児者しか認められなかった日常生活用具の使用が発達障がい・精神障がい児者にも適用される。

脳性麻痺のこども達約500名を救済 **実現**

党内の仲間と厚生労働省・こども家庭庁により障がい者就労施設へ国会図書館書籍デジタル化のスキャン作業の発注で自立を支援。特例政令の改正を実現し、優先調達法を推進。

## 社会的養育のこども支援充実

乳児院の安易な新設を禁止

愛着障害の原因となる乳児院は諸外国では廃止されているものの、日本には100箇所以上存在。政府計画改定の際、安易な定員増を伴う乳児院の新設に反対し、創設を防ぐ。

里親委託率75%の目標を設定

地域格差がある里親委託率の是正に尽力。すべての都道府県で、乳幼児の里親委託率75%、学童期以降の里親委託率50%以上の達成目標設定を主導。

## 不登校支援

学びの多様化に尽力

学びの多様化学校(不登校特例校)や居場所支援の現場に繰り返し足を運び、多様化学校の全国拡大を推進。不登校のこどもたちの教育環境の整備や、学校風土改革を推進。

## こどもの権利

こどもの権利基盤のこども基本法制定 **実現**

1994年の条約批准後放置されていたこどもの権利に基づく「こども基本法」制定を実現。こどもコミッショナーにつながる附帯決議を盛り込み、継続議論。また、こどもの出自を知る権利保障のための制度構築に向け議論を喚起。

## 所得制限撤廃

児童手当の所得制限を撤廃 **実現**

「子育て罰」と呼ばれる厳しい状況を変えるため、自民党内で粘り強く訴え、政府への提言を重ねた結果、児童手当の所得制限撤廃を実現。

## こどもの貧困対策

児童扶養手当の第三子拡充を実現 **実現**

児童扶養手当の第三子拡充を実現。また、離婚後に支払われていない養育費不払い問題に切り込み、養育費の確保に向けた議論を政府内で主導。

## 相談機関

こどもの人権侵害を救済する相談機関の設置

相談だけにとどまらず、こどものあらゆる人権侵害の問題に適切に対処・救済できる相談機関を設置すべく、党内で継続的に議論。

## こどもの声を聴く

アドボカシーの推進、こどもの意見反映をリード

こどもの声を聴きながら、こども政策策定やこども家庭庁の創設に取り組む。さらに、学校内民主主義やアドボカシーの推進など、こどもが意見を表明する機会確保にも尽力。

## 就学前支援の拡充

就学前施設交付金を追加確保 **実現**

2024年3月、就学前施設の交付金が予算不足との理由で募集停止に。地方議員から声を集め現場の状況を把握。こども家庭庁との交渉の末、補正予算で829億円の追加予算を獲得。



# 国内視察 現場の声を政策へ!

# 現場主義を貫く ①

## 児童虐待対策

### 産前・産後母子支援センター こどもティエ

妊産婦の死因は自殺が1位。妊娠から出産後まで包括したサポートを行うセンター。妊産婦の孤立を防ぐ



2022  
MAY

福岡

### 子ども・若者総合センター エールぎふ

児相と警察、岐阜市、教育委員会が同じフロアで連携。児童虐待などにワンストップで総合支援



2023  
FEB

岐阜

### 大磯町こども家庭センター

町長とこども家庭センター設置の課題を議論。人口2万人以下自治体でのこども支援のモデルを探る



2023  
OCT

神奈川

### 子ども支援センター つながぐ

虐待にあった子の心と体に配慮し、司法面接や全身的系統診察を実施。CAC全国展開を決意



2024  
DEC

神奈川

## いじめ撲滅

### 旭川市教育委員会(いじめ重大事態第三者委員会)



旭川市教育委員会を訪問し、旭川市で起きたいじめ事案について教育長にヒアリング。2013年成立のいじめ防止対策推進法が全く機能していないことがわかり、いじめの認定や第三者委員会の調査体制強化を国に働きかけ、いじめ隠ぺい体質改善を求める

2021  
SEP

北海道

## こどもの自殺

### いのち支える 自殺対策推進センター

2021  
SEP

東京

コロナ禍で若者や女性の孤立がより一層深刻に。SNS相談拡充で孤独孤立に寄り添い命をつなぐ最前線を視察し、自殺対策の強化を決意



### 大阪府営住宅を利用した 若年のシェアハウス

2023  
FEB

大阪

家族の暴力や貧困などで安住できる家がない若者を支援。自立を支援し、公営住宅の空室対策も兼ねる取り組み。利用する若者とも対話



## 社会的養護のこども支援

### 家族の一時滞在施設 SOSこどもの村福岡

里親にもさまざまな課題があることを前提に、里親が一人で抱えこまず、医師や臨床心理士などの専門家や地域全体で里親家族を丸ごと支援する独自の取り組み。全国への横展開を決意



2022  
MAY

福岡

### 産婦人科病院慈恵病院 赤ちゃんポスト

全国から予期せぬ妊娠で悩む女性が頼ってくる、赤ちゃんポスト。困難を抱える妊産婦と遺棄されたら亡くなってしまおう新生児・乳児の命を守るための最後の砦。内密出産の法制化の必要性を理解



2022  
JUN

熊本





## 不登校支援

### 学びの多様化学校 西濃学園中学・高等学校

不登校生徒の実態に合わせた私立校の独特な教育課程編成など、全国展開のカギを探る



2022  
JUN

岐阜

### 認定NPO法人カタリバ アダチベース

ありのままの自分を受け入れる心の安全基地。学習支援や食事提供で貧困の連鎖を断ち切る



2022  
JUN

東京

### 学びの多様化学校 岐阜市立草潤中学校

不登校のこどもの自信回復、たくさんの選択肢から自分で選ぶことを大事にした公教育を展開



2023  
FEB

岐阜

### 公立学校 埼玉県戸田市内小学校

自宅からGIGA端末やメタバースを使い、オンラインで授業に参加できる仕組みを整備



2022  
FEB

埼玉

## こどもDX

### キートスチャイルドケア 桜木保育園



保護者との連絡はすべてアプリ内で完結。見守りデバイスも取り入れ、こどもの健康と安全を確保するデジタルを徹底活用した先進事例。国として現場の負担を軽減する手続きのDX化のあり方の検討に繋げる。DX化により、保護者もこどもと向き合える時間が増えたとの声

2023  
FEB

千葉

## 障がい児・障がい者への支援

### 障がい者が中心にチョークを作る 日本理化学工業

2016  
MAR

東京

障がい者が現場リーダーを担う! 従業員7割が知的障がい者。大山会長指導のもと、工場全体を改革。皆働社会のモデルに



### 国会図書館のOCR 社会福祉法人東京コロニー

2022  
JUN

東京

紙文書の電子化サービスを行う法人。国会図書館のデジタル化推進のため、OCRを障がいのある方々に発注し、やりがいのある雇用の確保を実現

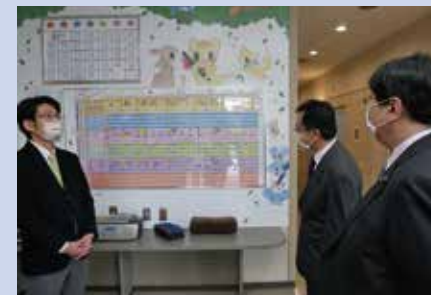


### 心身障害児総合医療療育センター 小茂根

2025  
JAN

東京

障がい児を総合的に支える日本を代表する施設。寝たきりなど重度の心身障がいのあるこどもも受入。懸命にこどもの命をつなぐ専門人材のため、国として予算確保を決意



### 児童施設インクルーシブ プレイスコパル

2022  
MAY

山形

車いすのこどもも含め、異なる背景や特性のあるこどもたちがともに遊べるがコンセプト。気軽に利用できる充実した屋内外遊具施設に感激





## ドイツ・オランダ・イギリス

### こどもの権利を尊重した 社会的養護のこども支援

ドイツで1か所、イギリスで3か所の児童養護施設を訪問。オランダでは里親ケア施設を訪問。もともと衝撃だったことは、こどもと親、それぞれの「権利」のあり方が日本と諸外国では大きく異なるということ。「こどももひとりの人間」という個人の人權が尊重される支援を理解

(2015年10月9日～16日)



## 韓国

### 潤沢な資金に裏打ちされた、こども 1人1人を伸ばす児童養護施設の運営

韓国国内でも大きい児童養護施設の1つである「安養の家」を訪問。赤ちゃんポストに預けられたこどもたちや被虐待児童などを保護するとともに、養子縁組の支援を積極的に行っている。施設内では、こどもたちにあった丁寧な教育を提供。柔軟な運営資金の運用が課題

(2015年11月22日)



## イギリス・フランス

### 学校や教育委員会に閉じない問題解決の姿! 第三者機関が徹底的にこどもの問題を解決に導く

☆イングランドのコミッショナー(レイチェル・デ・ソウザ氏)と面会。こどもの権利を促進・保護する役割を持ち、調査や助言、監視などを通じてこどもの意見を政策に反映させる同国のコミッショナー制度について意見交換。イギリスの事例を参考に、日本におけるコミッショナー制度の在り方を検討

☆こどもに関わる施設を全てモニタリングの対象とする独立した第三者監視機関Ofstedを訪問

☆全国家族手当金庫(CNAF)にてフランスの少子化対策や子育て支援策をまなび、効果的な少子化対策を検討

(2022年9月4日～18日)



## 韓国

### こどもの権利が中心のこども 政策とアットホームな児童養護施設

こどもの権利や児童養護に関する3か所を視察。すべての児童をきめ細かくケアする政府の機関「児童権利保障院」が実施する政策策定・評価や支援を学び、意見交換。養子縁組データベースは示唆に富み、日本での展開を検討

(2022年12月21日～23日)



## アメリカ

### 虐待等を受けたこどもを ワンストップで支援

ニューヨーク州マンハッタンCAC(チャイルド・アドボカシー・センター)と市立ベルビュー病院こどもの精神神経科救急プログラムを視察。ワンストップで連携できる機関を日本で作りたいと決意

(2024年7月30日-8月10日)



## モルドバ・ルーマニア

### ウクライナから避難したこどもの 日常を支える支援現場

ウクライナ避難民の支援現場を視察、2か国へ。ルーマニアとウクライナの国境付近、イサクチャまで行き、ロシアの侵攻当初、ウクライナからの避難民がルーマニアに逃れる主要なルートを巡った。長期化する危機に対する、支援活動の課題や避難民の現状を理解し、今後の支援の在り方について検討を深めた

(2024年8月19日-8月24日)



## イギリス・フランス

### こどもの権利保障のための専門組織 や政策を生々の声で学ぶ

☆スコットランドの元首相マコーネル議員、イングランドの元教育大臣ツイッグ議員らとこども庁・こども政策について意見交換(2021年11月23日)

☆スコットランドこども若者コミッショナーらとパネルディスカッション(2021年11月20日)

☆フランス連帯保健省と産前産後ケアについて意見交換(2022年11月18日)





# こども家庭庁創設 1年半の奇跡の舞台裏

# 地方議員や専門家・現場からの声とともに創設

## 2016年(野党時代)安倍総理宛て要望書

これ以上こどもの命を散らすわけにはいかない！  
官邸にて総理宛て副官房長官に要望書を提出  
こどもたちの命を守り、安心・安全な育ちを約束するための  
責任者が必要だという考えのもと、こども庁の必要性を訴え  
る。安倍総理大臣宛ての要望書を世耕副官房長官に提出。



## 2021年1月24日 菅総理に直談判！

**動かない政治に蹴りを！**  
菅総理と官邸でこども庁の必要性をじっくり1時間  
菅義偉総理大臣(当時)に単独で「こども庁設立」の試案を提案。同年2月  
には30名を超える同僚議員と勉強会を立ち上げる。

## 2021年2月2日 党内外で仲間づくり

こども中心の政策のために大きなうねりを！  
仲間達とChildren First勉強会設立

地方議員と党内の若手国会議員で勉強会発足。勉強会で「こども行政に関する要望アンケート」を実施。17,458人48,000件以上の声。小さな声が大きな原動力となり、こども庁構想が実現へ。これぞ、元祖デジタル民主主義。



## 2021年9月22日 総裁選討論会仕掛ける

**政権交代でこども庁構想が頓挫か？！**  
こども政策公開討論会を開催

ChildrenFirst勉強会主催で、自民党総裁選候補者による公開討論会  
を実施。こども庁構想を全候補者に問い、誰が総裁・総理になっても  
こども庁はつぶさないと必死の想いで奔走。

## 2021年12月 激しい党内議論

名称問題が勃発 自民党「こども・若者」輝く未来創造本部  
自民党内での議論が紛糾。こどもコミッションの必要性や「こども  
庁」が「こども家庭庁」へと突如名称変更になるなど、何度もこども庁  
構想が危機に。何とか諦めずに粘りに粘りギリギリの日程で、年末の  
閣議決定に漕ぎつく。



## 2022年6月15日 会期末ぎりぎりに法案可決！

こども家庭庁設置法・こども基本法成立

2022年6月15日参議院本会議にて、成立。こどもまんなか社会実現への大きな1歩。



## ChildrenFirstこども行政のあり方勉強会の重要性 ～地方議員と現場の対話があったから動き始めた～

### 地方議員と一緒に現場の 声から政策を生み出す

自民党の地方議員(400名)からの大きな後押しでこども庁創設とこども政策の議論が前進。  
地方議員へのアンケートやヒアリングにより、  
全国各地の地域の問題を把握。地方の現場の  
声をもとに政策が生まれた。



## あらゆるこどもの課題を当事者・専門家と議論

### 勉強会テーマ

1回 市町村から見た中央でのこども行政のあり方	14回 こども支援の予算と人員	26回 こども成長見守りシステム
2回 かかりつけ助産師制度・院内助産システム	15回 生理の貧困とひとり親	27回 多様な教育支援のあり方
3回 こどもの死亡事故と予防	16回 こどもの貧困	28回 こども基点で考える子育て研究会
4回 保育・教育の質の向上とこどもの発達	17回 地方議員ヒアリング	29回 こどもアンケート結果
5回 こどもの虐待	18回 〈第二次提言取りまとめ〉	30回 寝屋川市におけるいじめゼロへの新アプローチ
6回 虐待と日本版DBS	19回 こどもの健全な成長のための外あそび推進	31回 こども家庭庁設置法案の審議状況とこども基本法案
7回 こどもホスピス	20回 子育て支援を企業の成長戦略に	32回 こども家庭庁設置法とこども基本法成立
8回 〈第一次提言とりまとめ〉	21回 地方議員からこども庁の設置を求める要望書	33回 今後のこども関連予算がどうあるべきか
9回 こども庁創設に向けての期待	22回 コロナ禍におけるオンライン診療/医療相談	34回 宗教2世の虐待の問題
10回 こどもにとって安心・安全な学校	23回 自民党総裁選候補者によるこども庁創設にむけた公開討論会	35回 外国人のこどもを取り巻く課題
11回 こどものいじめ・自殺	24回 多世代交流拠点としてのこども食堂	36回 不登校支援
12回 こどもの権利	25回 孤立防止支援と伊達市版ネウボラ	37回 こども家庭庁の取組と今後の活動
13回 食育～こどもへの栄養教育の重要性～		地方議員より、発足したこども家庭庁への提言(2023年6月14日)



### こども庁

一「こども家庭庁創設」という  
波乱の舞台裏—  
2023年8月発売  
講談社星海社新書

「こども庁」構想の発起人の一人である著者が、庁の発足までの舞台裏を書き下ろした疾風怒濤の政治ドキュメンタリー。

過去の勉強会資料はすべてこちらで公開しております

【ウェブサイト】  
「こども庁の創設に向けて」



### 山田太郎のものがたり 2025年号 こども政策編

[発行所] 自由民主党東京都参議院比例区第五十支部  
[連絡先] 〒146-0083 東京都大田区千鳥1-15-1  
自由民主党東京都参議院比例区第五十支部  
☒ office@taroyamada.jp